

紙の美

芸術文化と企業の関わりを どう繋げていくか・・・

2017年6月14日(水)–8月27日(日)

| 開館時間 | 10:00–18:00

| 休館日 | 月・火曜日

*ただし7/17(月祝)は開館し、
7/19(水)を振替休館します。

臨時休館日: 8/21(月)–24(木)

| 観覧料 | 無料

主催 富士市 主管 一般社団法人 富士芸術村

世の中がIT化される中、紙はその存在が薄れることなく私たちの身近なものになっています。

富士市には多くの製紙会社があります。ただ紙を生産するだけでなく常に技術を高め、私たちにより良い紙を提供してくれています。紙は私たちの生活に欠かせないものでありながら、その存在を意識することはあまりありません。

紙の歴史、文化、芸術、そして技術を知ることにより紙の魅力を探ることができると思います。

今回は富士市内の会社と当ミュージアムのコラボレーションにより制作された作品の展覧会です。

プロデュース 漆畑 勇司 制作 富士木材株式会社

特別講座

7月17日(月祝)

①「ダンボールで写真立てをつくろう」10:00–11:30

写真をストックできる写真立てをダンボールで作ります。

会場: ふじ・紙のアートミュージアム 交流スペース (ロゼシアター1階東)

定員: 先着20名 (幼児から一般対象)

参加費: おひとり500円

申込み: ミュージアムまでお電話でお申込みください。(TEL 0545-32-6581)

②「紙を語る」14:00–15:30

小長井 義正 (富士市市長)

川口 祐介 (富士木材株式会社代表取締役社長)

漆畑 勇司 (ふじ・紙のアートミュージアム館長)

富士市の地場産業である紙について歴史をたどり、新たな方向性をさぐる鼎談です。

会場: 富士市文化会館 ロゼシアター1階 展示室

定員: 先着150名

参加費: 無料

申込み: ミュージアムまでお電話でお申込みください。(TEL 0545-32-6581)

締切りは7/15(土)としますが、先着順に受付し、定員になりしだい締め切らせていただきます。お問い合わせはミュージアムまでお電話にてご連絡ください。



ふじ・紙のアートミュージアム

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。

2016年(平成28年)11月1日開館

| 交通 | 東名富士インターチェンジより約2.3km
国道1号線より約2.2km
新富士駅より約2.2km 富士駅より約2.6km
バスの場合は、JR富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」下車、徒歩2分
新幹線JR新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車 *発車によって到着するバス停が異なりますのでお帰りの際はご注意ください。

| 駐車場 | 富士市文化会館 ロゼシアターの駐車場をご利用ください。*ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地
富士市文化会館ロゼシアター1階
TEL 0545-32-6581 FAX 0545-32-6582
<http://www.fuji-paperart.jp>

